



## 節分と立春

2月になりました。2月は1年のなかでも短い月ですから、あっという間に逃げ去るとも言われます。2月3日(例年は2月4日)は春の季節の始まりとされる「立春」と呼ばれる日です。昔の暦(こよみ)では、このころが1年の始まりであるとされていました。江戸時代ごろからは、立春の前日を「節分」と言うようになったそうです。

節分の行事はご存じのとおり、「鬼は外、福は内」と大きな声で、豆をまき、年の数より一つ多い数(もしくは年の数)だけ豆を食べます。また、邪気除けとして、柞鱈(ひいらぎいわし)という柞(ひいらぎ)の小枝と焼いた鱈(いわし)の頭を門口(かどぐち)にさします。季節の変わり目は邪気が入りやすいと言われ、それを除けるために豆まきをしたり、飾りをつけたりしたのです。最近では、幸運を招く方角を向いて黙って太巻きを丸かじりする風習も人気となっています。こうした風習は地域によって違いがあるようです。

暖房のない時代、厳しい冬の後にくる春の穏やかな季節は、人々にとって昔から変わらない大きな喜びであり、その前の節分は春を迎えるための大切な行事でした。今年の節分は、特に「新型コロナウイルス」という名の鬼を、豆まきで追い出したいですね。



ひいらぎいわし

## 柞小出身の高校生があいさつ運動に来てくれました。

観音寺マナーアップの会主催のあいさつ運動が1月26日(火)～28日(木)の3日間、本校で実施されました。今回のあいさつ運動には、柞小出身の高校生も参加してくれました。

観音寺マナーアップの会では、安全で安心な観音寺市になることが、子どもたちの健全な成長につながると考え、「人がつながるための声かけ、心かけ」を大切にしようと呼びかけています。そのための第一歩があいさつであるととらえ、『君のあいさつが 僕の元気 私の元気』のキャッチフレーズのもと、啓発活動を進めています。

初日は、児童も高校生も緊張して「おはようございます」の声が出にくい感じでしたが、児童にとってはあこがれのお兄さん、お姉さん、高校生にとってはかわいい弟、妹であり、柞田小学校は自分たちの母校です。最終日には大きな声で、元気のいいあいさつが双方ともできていました。



あいさつを交わすことで、自然と笑顔になり、元気がわいてきます。子どもたちには、普段からあいさつすることを心がけ、友だちや周りの人と豊かなつながりを築いてほしいと考えています。

## 1年2組で研究授業

1月27日(水)5校時、1年2組が研究授業にチャレンジしました。「ともだちをだいじにするためにはどうしたらいいのか」について、『くりのみ』というお話をもとに考えました。

手を上げて自分の意見を発表したり、友だちの意見を真剣に聞いたりする姿など、すばらしい学習態度で、指導者の先生がとても感心していました。



## 新児童会へ バトンパス!

1月29日(金)、放送集会において、新旧の児童会の引継式があり、6年生から5年生に学校のリーダーが託されました。

旧児童会の皆さんは、コロナ禍で活動が制限される中、よくがんばってくれました。ありがとうございました。5年生の新児童会の皆さん、よろしくお祈りします。

